



中学校体育大会で 熱戦

9月11日(日)、大崎中学校において「第9回大崎中学校体育大会」が開催されました。

今年も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、競技種目を減らし時間短縮で実施されました。

「^{ひゃっかせいほう}百花斉放 ～一人ひとりの個性よ花開け～」を大会スローガンに掲げ、赤組・白組・青組の3組対抗で競技がおこなわれ、優勝めざし、心を一つに、生徒全員で大会を盛り上げていました。

各組のテントからは力強い応援が聞こえてきました。優勝は青組でした。



チラシを再利用し作った箱を寄贈

9月9日(金)、音楽体操グループの皆さんが、チラシで製作した箱を大崎町社会福祉協議会に寄贈しました。

これは、同グループの皆さんが、小中学校や福祉施設などで生理用品入れやマスク入れとして使用してほしいと、不要になったチラシを再利用し、音楽体操の時間や自宅で製作したものです。

5月頃から作り始め、これまで大崎町教育委員会にも寄贈し、合わせて2千個ほど製作しました。グループの皆さんは「指の運動や脳活にもなるので、楽しみながら作りました。元気の素です！」と話されました。



無農薬レモンを 子ども食堂に寄贈



スライスレモンが
添えられたカレー

9月10日(土)、町内2か所の子ども食堂において、無農薬のレモンが約130個配布されました。

これは、株式会社おおすみテクノが農業部門で取り組んでいる無農薬のレモン栽培が、植え始めて今年5年目となり、良い仕上がりになったレモンをぜひ食べてほしいと子ども食堂に寄贈したものです。

同社では、5種類のレモンを町内6か所の土地約6ヘクタールに2,800本植えています。

渡部一二代表取締役は「大崎町の特産品にしたい。今後は地域の方々とも一緒に栽培に取り組んでいきたいです」と話されました。